

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

| | | | | |
|------|-----------------------|-------|----------|------|
| 形名 | ジョイントセンサー SLC-300C | | ※お買い上げ日 | 保証期間 |
| | | | 平成 年 月 日 | 6ヶ月 |
| ※お客様 | ご住所 | 〒 | | |
| | ご芳名 | | | |
| | 電話 | () | | |
| ※販売店 | 住所名 | ☎ () | | |

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

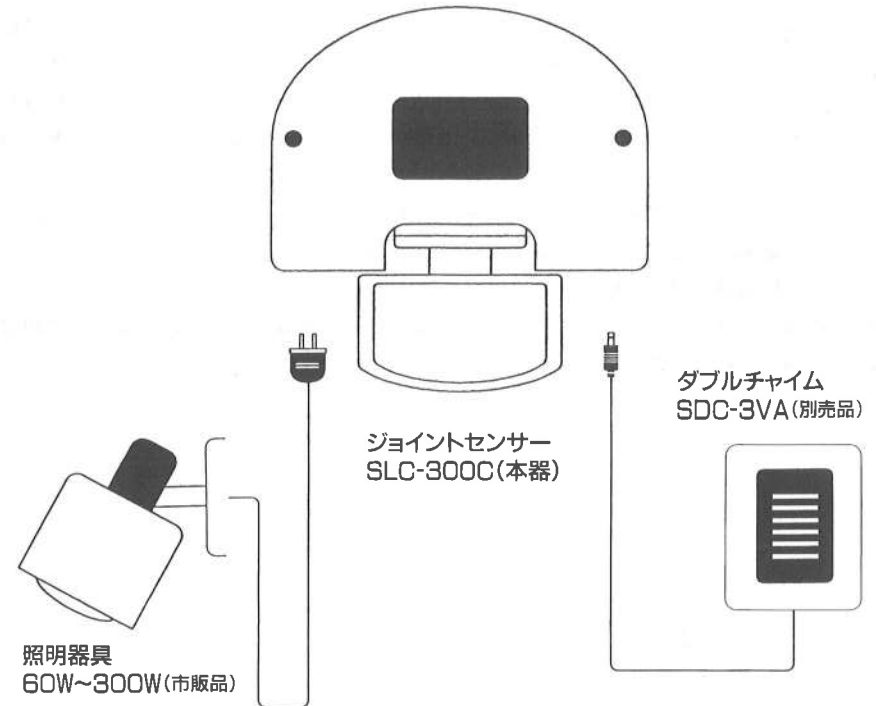
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

JOINT SENSOR

ジョイントセンサー(防雨タイプ)

SLC-300C 取扱説明書

センサー(本器)から離れた場所で照明器具、チャイムの接続可



このたびはジョイントセンサーをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

⚠ 警 告

- 使用電源は器具の銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧でご使用になりますと器体の破損、事故の原因となります。
- 使用するランプは指定された種類、ワット数のものをご使用ください。指定を超えたランプを使用しますと器具が加熱して事故につながります。又、センサーが誤作動することがあります。
- ランプの取り付け、取り外し、器具の清掃の時は電源を切り、電球の熱が下がっていることを確認してから作業をしてください。やけどの原因となります。
- 点灯中、消灯直後は電球が熱くなっていますので絶対に手や肌を触れないでください。やけどの原因となります。
- 電球を紙や布でおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。火災の原因となります。
- 可燃性、揮発性の物質のあるそばには取り付けしないでください。事故の原因となります。
- 本器は防雨タイプですが完全防水ではありません。配線ボックスを開けて組立をするときは、ケースとフタのパッキンを正確にセットして、ネジを確実に締めてください。パッキンが正確にセットされていないとき、ネジ締めがゆるいときは本器内に雨水が入り事故の原因となります。
- 防雨タイプですが雨水が直接かかるところ、直射日光のあたるところには取り付けしないでください。寿命を短くするだけでなく、故障の原因となります。
- 電源コードは極端に曲げないでください。発熱することがあり危険です。
- 電球は衝撃等の強いショックで、ヒビ割れ、破損することがありますので、取り付け前にご確認の上セットしてください。

センサーライトご使用上のご注意

- 本器は赤外線が人、車等の温度を検知して作動する構造になっています。センサーの検知エリア内に人間、車等が入ったとき、周囲との温度差を検知してセンサーが作動します。温度差のないとき、静止しているときはセンサーは作動しません。
- センサーボックスとランプは接近させないでください。又、温度の高いもののそば、振動や衝撃のあるところ、反射しやすいもののそばには取り付けしないでください。センサーが誤作動することがあります。
- 人、車の触れる場所には取り付けしないでください。事故の原因となります。
- 電圧降下しますと誤作動することがありますので、延長コードをご使用のときは電気容量に合ったものをご使用ください。使用するコードの太さ(公称導体断面積)と最大長さの関係(ご参考)

| コードの太さ(導体公称断面積) | コードの最大長さ |
|---------------------|----------|
| 1.25mm ² | 10m |
| 2.0mm ² | 20m |

- ジョイントセンサーをご使用のときは、周囲温度が-10℃～+60℃の範囲内でご使用ください。範囲を超えた場所でご使用になりますと、正常に作動しないことがあります。
- 使用電球は白熱球、ハロゲン球をご使用ください。
- 本器の最大消費電力は300Wです。ご使用の電球の容量は60W～300Wの範囲内でご使用ください。
- センサーボックスの左右の角度調整はセンサーボックスを持って、左右に回してください。上下角度調整は固定ネジをゆるめて調整してください。調整が終了したら固定ネジを確実に締めつけてください。ネジの締め付けがゆるいときは雨水が中に入って事故の原因となります。
- 防犯については、検知エリアに侵入するもの(人、車等)に対して注意、警告を促すにすぎません。盗難や犯罪を防ぐものではないということをご了承ください。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みになり、安全にご使用ください。

各部の名称

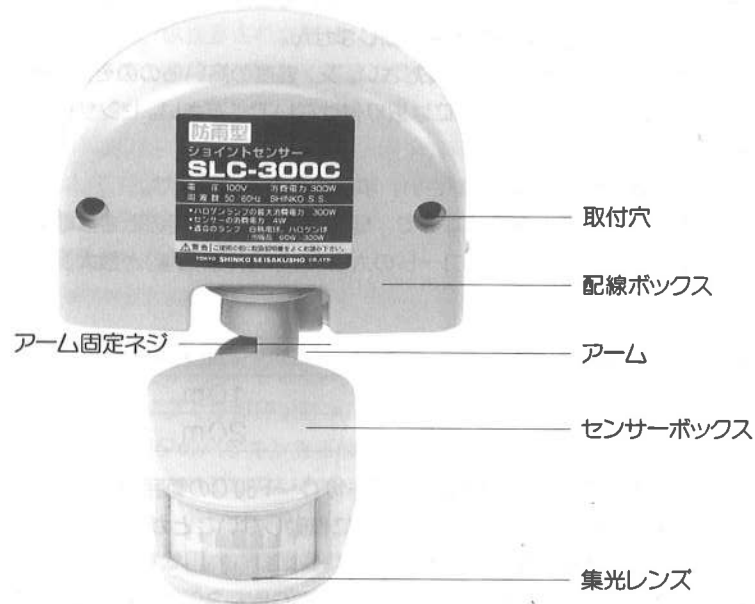


図1

仕様明細

| | |
|-------------|----------------------|
| 形 式 | SLC-300C |
| 電 圧 | 100V |
| 消 費 電 力 | 最大300W、(センサー約4W) |
| 検 知 方 式 | 赤外線検知方式(昼夜、夜の切替え可) |
| 検 知 工 リ ア | 直前1~12m(約)、角度130°(約) |
| 角 度 調 整 | 上下、左右調整可 |
| 点 灯 時 間 | 7秒~8分(約) |
| 使 用 の 電 球 | 白熱球、ハロゲン球 |
| 電 球 の 容 量 | 60~300W (市販品) |
| 重 量 | 400g |
| コ ー ド の 長 さ | 3m |

※改良のため、予告なしに製品の仕様が変わることがあります。

センサーの調整方法

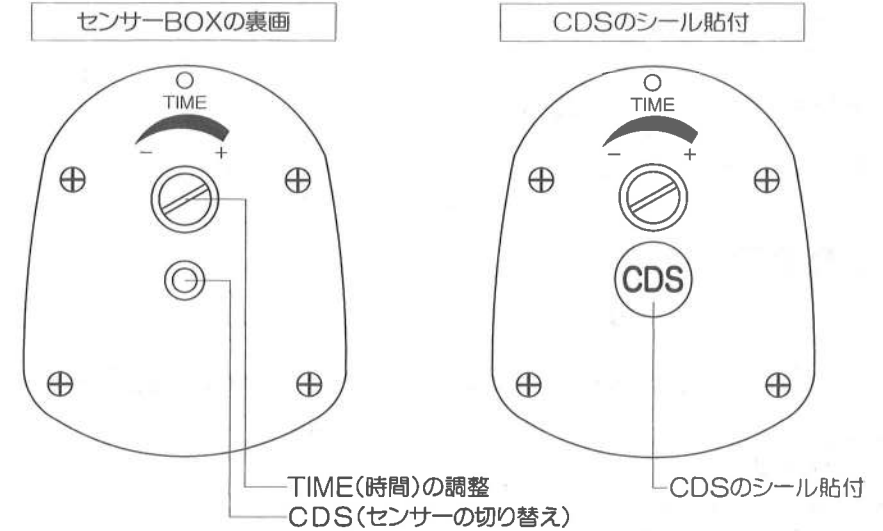


図2

■センサーライトのテスト、昼夜の点灯、夜のみの点灯の調整方法

- センサーの調整はCDSシールの貼付、はがして調整ができます。(図2参照)

| | |
|----------|------------------|
| センサーのテスト | CDSシールを貼ったままテスト。 |
| 昼夜の点灯 | CDSのシールを貼ったまま使用。 |
| 夜のみの点灯 | CDSのシールをはがして使用。 |

(明るいところでテストをするときCDSシールがついてきかないときは黒色のテープを貼ってください)

■点灯時間の調整方法

- TIME(時間)のダイヤルを⊖方向(左)に回すと点灯時間が短くなり、⊕方向(右)に回すと点灯時間が長くなります。(図3参照)
- 点灯時間は約7秒~約8分の間で調整ができます。

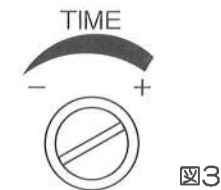


図3

ジョイントセンサーの特長

- 本器は赤外線が人、車等の温度を検知して自動点灯、自動消灯。
- 点灯時間は7秒～8分(約)の間で調整可。 ●昼夜の点灯、夜のみの点灯調整可。

夜間に便利！そして節電、安全、防犯

- 夜間外出先から帰ったときに。 ●侵入者に対して突然の点灯で警告。
- 夜間、車庫への車の出し入れに。 ●夜間の倉庫、工場、作業場の物の出し入れに。

設置場所

- ご家庭の玄関、門扉、車庫等。 ●夜間の店舗、工場、倉庫、駐車場、農業ハウス、養殖場等。

センサーに照明器具(市販品)とチャイム(別売品)の接続方法

- 本器の配線ボックスの下面に○型のゴムキャップと□型のゴムブッシュがついています。(図4参照)
 - 型のブッシュを抜くとチャイムのジャックを差し込む穴がついています。□型のブッシュを抜きますと照明器具を差し込む穴がついています。
 - 照明器具、チャイムを接続するときは、ゴムブッシュを抜いて、ジャックまたはプラグを差し込んでください。
- ☞プラグおよびジャックを接続しないときは、ゴムブッシュを差し込んでおいてください。
- ☞照明器具は市販品をご使用ください。チャイムは別売品のダブルチャイムSDC-3VAをご使用ください。(他のチャイムは使用できません)

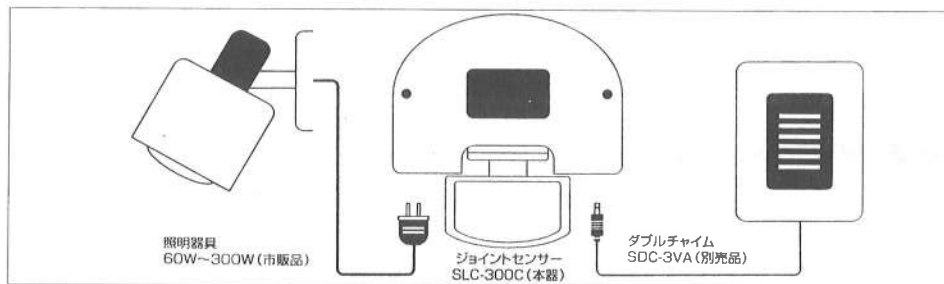
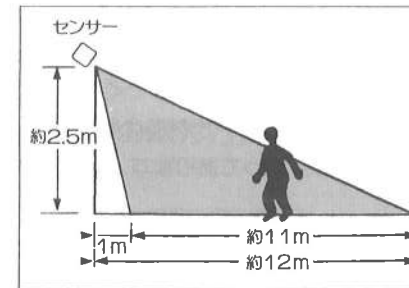


図4

センサーボックスの角度調整方法

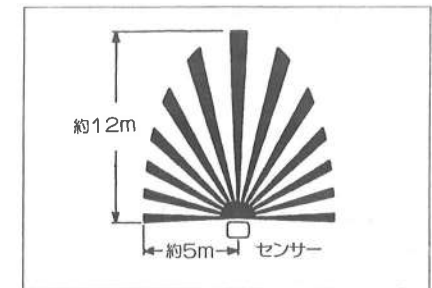
- センサーボックスの上下角度を調整するときは、先に固定ネジを少しゆるめて角度を調整してください。調整後はネジを確実に締めてください。
- ☞上下の角度調整をするとき、ネジをゆるめなくて無理に回しますと破損の原因となります。
- センサーボックスの左右の角度を調整するときは、センサーボックスを持ち、ゆっくりと左または右に回してください。

センサーの検知エリア



前方の検知エリア

- 前方の検知エリアは(約)1m～12m。
- 左右の検知エリアは約130°左右約5m。



左右の検知エリア

図5

取り付けについてのご注意

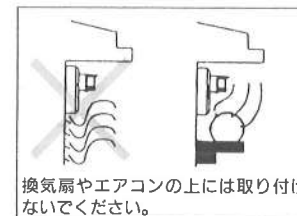
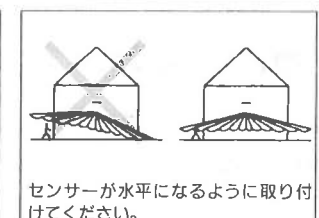
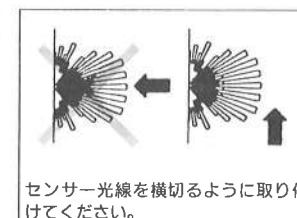
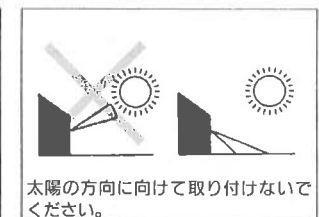


図6

- ☞ センサーを取り付けるときは上記の注意事項をご確認の上、正常に作動するように取り付けてください。

センサーライトの取付前の準備について

■取付前にセンサーのテストをしてください。(図2参照)

- センサーが正確に作動するかを取付前に確認してください。
 - センサーボックスの裏面に貼ってあるCDSのシールをつけたままテストをしてください。
- ☞明るいとこではCDSの穴をふさがないとセンサーは作動しません。出荷時は昼夜(明るいところ、暗いところ)でもセンサーが作動するようにシールを貼ってあります。

■CDSのシールについて (図2参照)

- 昼夜センサーを作動させるときはCDSのシールを貼ったままご使用ください。
- 夜だけ作動させるときは、CDSシールをはがしてください。

■ランプの点灯時間の調整方法 (図3参照)

- センサーボックスの裏面に時間を調整するダイヤルがついています。ダイヤルを回すと、(約)7秒～(約)8分の間で点灯時間の調整ができます。ダイヤルを⊖方向(左)に回すと点灯時間が短くなり、⊕方向(右)に回すと長くなります。

■取付前のセンサーのテストと取付場所について

- センサーライトの組立、テストが終了したら、電源にプラグを差し込み、取付場所(位置)にセンサーライトを置いて正確に作動するかを確認の上取付けてください。
- センサーの取付け位置は、取付けについての注意事項をクリアしているところを選んでください。取付場所が悪いとセンサーが誤作動し、正常に使用できません。(図6参照)
- センサーを正確に作動させ、寿命を長くするために、取付場所を選んでください。本器は防雨型になっていますが、完全防水型ではありません。直接雨水のかかるところ、直射日光のあたるところは避けてください。

取付について

- 配線ボックスの左右に穴が2ついています。
 - 付属の取付ネジ(φ4×30mm)がついています。
- ①木材に取り付けるときは取付材料の厚さは25mm～30mmのものに取付けてください。
- ②コンクリート、ブロック、レンガ等に取り付けるときは、ドリルで直径(約)φ5×27mmの下穴をあけてください。次に付属のプラグを金槌で打ち込み、取付ネジで取付けてください。
- ☞下穴が大きいと、プラグを打ち込み、取付ネジをネジ込んでも確実な固定ができません。取付後は確実に固定されているかご確認ください。
- ③鉄板等に取り付けるときは、市販のビス、ナットを使用して確実に取付けてください。
- 取付けが完了したら、センサーボックスの角度、ランプソケットの角度を調整してください。
 - 最後に電源プラグを差し込み、昼夜点灯させるときは、CDSのシールを貼ったままご使用

ください。夜のみ点灯させるときは、CDSシールをはがしてください。

- ☞セットが完了したら電源を差し込んだままにしておきますとセンサーが人、車等を検知して自動点灯、そして設定した時間で消灯します。(スイッチは付いていませんので不要のときは、電源のプラグを抜いてください。)

プラグの取付方法

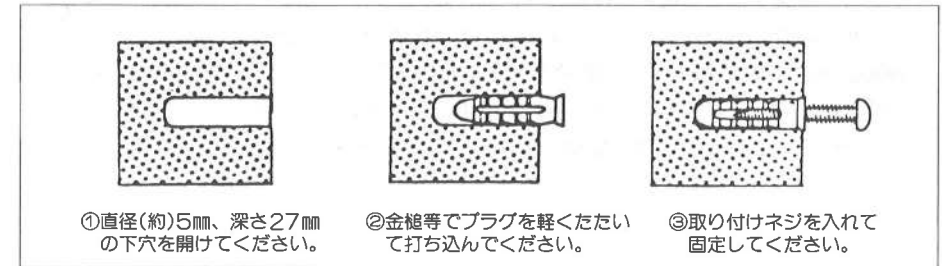


図7

取付についてのご注意

- ☞取り付けは取扱説明書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。

■車庫(車の出入りをするところ)への取り付けのご注意

- センサーは外気温度と人間または車の温度を検知して作動します。取り付け位置についてはテストの上決めてください。
- ☞センサーは鉄、ガラスを通しません。またセンサーの検知エリア内で人間、車(外周に温度差のあるもの)等が動いているときに作動します。(静止しているときは作動しません)。

■センサーの検知範囲の調整について

- センサーの検知の不要なエリア(犬、猫などの動物の動く場所)については、センサーの不要部分に黒いビニールテープを貼ってください。(図8参照)

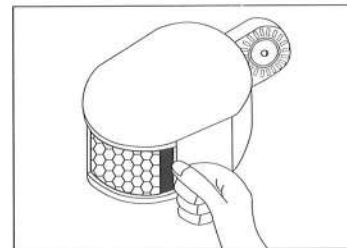


図8

取付後の調整、補修について

- 使用中にランプが点灯しなくなったときは、電源をご確認ください。
 - 電源に異常がない場合はランプをご確認ください。
 - センサーが正常に作動しないときは、延長コードの容量不足が考えられますので、ブレーカーに近い電源にプラグを差し込み、点検をしてください。
 - 前記のご確認をしても正常に作動しないときは、センサーの異常、または周囲環境等が考えられますので、お手数をおかけしますが、当社技術部までご連絡ください。
- Ⓔ周囲の環境、建物の配線、ご使用の電気器具等により、センサーが正常に作動しないことがありますので、このようなときは取付場所の変更、電源の変更等が必要です。
- センサーライトは主に屋外で使用しますので、時々ランプの汚れをふきとるようにしてください。